

大きく変わる学校

中学校で国際コースを新設

江戸川女子中学校



江戸川女子中学校・高等学校は 1931 年に開校した城東高等家政女学校がルーツです。戦後は学制改革で江戸川女子中学校・高等学校となっただけでなく、江戸川学園取手小・中・高や江戸川大学を開学するなど、総合学園に成長しました。英語教育への取り組みは早く、1986 年に高校に英語科を設置、海外語学研修の実施では先駆的な存在です。時代の変化や要請に鑑み、蓄積してきたノウハウを生かし、さらに内容をブラッシュアップさせた国際コースを 2021 年から中学に設置することになりました。

1. 国際コースの目標

国際コースでは英語の習得を最終目標にするのではなく、英語をツールとして自分は将来何をしたいのかを明確にして、卒業後のモチベーションにつなげていきます。また、日本の大学だけでなく、海外の大学への進学も視野に入れた進路指導を行うことで、生徒の可能性を広げます。「生徒の未来に種を蒔く」教育が国際コースの目標です。

2. 高い英語力の育成

通常の英語の授業はクラスを 2 分割し、生徒の学習状況に合わせたきめ細かいレベル別指導を行います。英検 3 級や準 2 級程度までのスタンダードクラスでは、Treasure というレベルの高いテキストを用いて英語 4 技能の活動をバランスよく取り入れた授業を展開します。テキストの内容に沿ったオンラインでの Speaking 練習もあります。また、ネイティブ教員による探求(Global Studies)では世界の様々な事象について調べ、それをプレゼンテーションするなど自己発信力を養成します。

英検 2 級程度以上のアドバンストクラスでは、高い英語力を生かし、さらに向上させるための授業を展開します。ネイティブの教員が担当する授業では、原書の講読を通してディスカッションやライティング、探求(Global Studies)も実施するほか、文法は日本人の教員が担当し、感覚ではなくルールをしっかりと理解することにより文法の知識を定着させ、確かな文章理解力、表現力へとつなげていきます。

高校ではネイティブ教員による原書講読やパラグ

ラフライティングの他に、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッションなどのスキルを磨く授業が増えていきます。受験だけでなく、その先の大学や社会に出てから役に立つ本物の英語力の養成を目指します。

3. 国際コースで習得する力

国際コースでは「①Why and Speaking Out 物事を自分なりに考え、自分の考えをはっきりと主張する力」「②Global Thinking 様々な事象を世界規模で捉えて考える力」「③Open Mindedness 異なる価値観を尊重し多様性を認める力」「④Flexible Attitude 変化に対して臨機応変に対応する力」を習得します。ですから、単に高い英語力だけでなく、異文化体験や日本文化に対する理解も必要です。日本で勉強している留学生との交流や中 3 でのマレーシア研修、高 1 ではオーストラリア研修、高 2 ではアメリカ・ニュージーランド・フィリピン研修を予定しているほか、高 1～高 2 では 1 年留学も選択できます。同時に、日本文化をしっかりと伝えられるように茶道・箏曲・華道も学びます。

4. 国際コースへの入学

英検 2 級レベルの英語特化型入試(帰国生 11/23、一般 2/2)の合格者は全員国際コースに入学します。他の入試の合格者は英検 3 級以上取得または本校で実施する英語チャレンジテストで合格すれば国際コースに入学できます。一般クラスに入学後も英検や定期試験の基準を満たせば、学年が進級する時に移動できます。